

## 令和2年度 第3回 合同幹事会 議事録

総務委員会

2021年1月31日

日時：令和3年1月31日（日） 午後1時00分～3時00分

会場：Zoom による会議 会費：なし

出席者：濱名誉会長（高8回）佐藤会長（高10回）塚原参与（高10回）巢山名誉顧問（高11回）  
奥原参与（高11回）三澤幹事長（高18回）久保田副会長（高18回）青柳相談役（高20回）  
小松副会長（高23回）佐原サイト委員長（高23回）小林会計委員長（高23回）荒木参与（高23回）  
石井レディース委員（高26回）宮下総務委員（高28回）戸田広報委員長（高28回）  
森本総会指導委員長（高28回）脇川財政委員長（高28回）佐藤事務局次長（高30回）  
片桐100周年委員（高35回）丸山レディース委員（高38回）中田第53回実行委員長（高42回）  
濱田第54回実行委員長（高43回）草野実行委員（高43回）中村実行委員（高43回）  
二木6年委員（高45回）百瀬総務委員長（高27回） 計26名

### 1. 開会：三澤幹事長（高18回）

- ・ 1月も最後の日になりましたが、東京ではコロナの緊急事態宣言が有り、ふるさと松本の方でも感染が広がっているという状況になっております。
- ・ 松本本部では1月3日にリモートで新年会を行いました。このような状況の中で、今年1年の事業計画を皆さんと知恵を出して決めて行きたいと思っております。今日も一つ宜しくお願い致します。

### 2. 挨拶：佐藤会長（高10回）

- ・ 本日はお忙しいところご参加頂きありがとうございます。
- ・ Zoomのお陰で画面を通して皆さんのお元気な顔を見ることができ嬉しい限りですが、今年はまだ同窓会が開催できるかどうかは今もってハッキリしていません。いずれにしても東京同窓会がしっかりしているということが大事で、縣陵のOBを纏めていくということになると思っております。今日も宜しくお願い致します。

### 3. 議題

(1) 第54回総会・懇親会計画について 濱田実行委員長(高43回)

資料『「第54回東京同窓会総会・懇親会」に向けて(案)』に基づき説明

- ・ 現在の準備状況を説明させて頂きます。
- ・ 基本方針は、オフライン・オンラインの両建てで考えている。
- ・ 日時場所：2021年6月12日（土）午後 @アルカディア市ヶ谷 富士の間
- ・ 森本総会指導委員長とアルカディアを訪れて打合せた。

- 例年では300人以上入れる会場だが、アルカディアからは、通常10人/卓を6人/卓にする、アクリルパネルの設置（飛沫感染防止策）などにより120人、或いは、最大でも 216人での実施提案があった。
- 会費10,000円の時の予算は、
  - 収入 会費120万円
  - 支出 飲食 120人×@7100<sup>★</sup>) =85.2万円 +α 5万円 経費 7万円  
(松本からの来場想定はなし)
  - 会場費 10、案内費 3、イベント 10、資料印刷等 8、雑 9
  - 料理は「個々盛スタイル」：6,700円（ドリンク限定）～7,100円（ドリンクフリー）/人
- オフライン開催中止の場合、中止判断の会場通告リミットは4/11（月）  
参加予定者への中止通告の期間、および次項会報制作編集に余裕を持たせる観点から4/8（水）をもってオフライン開催の可否を判断したい。
  - 開催日2か月前（4/12以降）のキャンセルはキャンセル料が発生する。
  - 1～3か月後ろ倒しは可能だが、順延開催は基本的に考えていない。
  - オフラインを中止する場合、オンラインは残す。  
(本部新年会をオンラインで実施した)  
⇒ オンラインを残すとすれば、これは昨年がない第3の道であり、これについても会報あがたで告知する必要があり煩雑さが想定される。
- **オンライン（ZOOM）とオフライン(規模縮小)とのハイブリッドも検討している。**  
オフライン開催の場合でも、やはりメインの会場は必要で、その場合はアルカディアでと考えている。オンライン組とオフライン組を作るハイブリッド方式も考えている。オンライン開催の場合はその他の拠点も必要  
オンライン参加者の会費は無料だが、一口1,000円の志を募集することも検討する。また、幾つか「その他のオンライン拠点」を作って Zoom で繋ぎ一体感を高めることができると考えている。
- オンライン開催の場合は、オンラインならではの企画も必要。本部同窓会で行った新年会の様に事前に録画しておくやり方も考える。(歌を録画しておき、それを流すなど)
- 総会・懇親会の案内については、出席のする・しないと、市ヶ谷か他のオンライン参加かを選んでもらおうと考えている。開催方法については、会報あがた、同封のはがき、HPなどで周知していきたい。
- アルカディア市ヶ谷の会場は120人を定員数とし、ご来場者希望の申し込みが120人を超えた場合は抽選とし、結果を連絡することを考えている。
- 連絡先としては、メールアドレス、電話番号は必須となるので、「オンライン（ZOOM）の場合メールアドレスが必須ですので、わかりやすく、読みやすく表記下さい。」との案内を考えている。

- ・ スケジュールは  
 <4/8をもって、オフライン開催とする場合>  
 申込みは、従来通りはがき、「縣陵東京ネット(HP)」からとする。  
 返信期限：5/21（金）or28日（金）はがきの消印有効  
 返信用はがきにメルアド、電話番号を記載頂くので、個人情報保護のためのシールを検討する。
  - ・ 「会報あがた」対応（のちほど、戸田広報委員長から報告）
  - ・ 以下の課題をクリアすべく準備していきたい。
    - ・ アルカディア市ヶ谷定員120人に達しない場合  
 ⇒ 確定は数日前（要確認）でいいので、定員割れしてもリスクは低い
    - ・ （オンラインを想定して）メールアドレスがない方をどうするか  
 ⇒ できれば第二会場（その場合の飲食は？）  
 オンラインのできる親しい方と一緒に（場所は随意で）
    - ・ 市ヶ谷開催してクラスターが発生しないか。万一発生した場合の想定をしておく。  
 対外的に説明する、あるいは取材を受けてしまう場合、その対応責任者は？  
 学校に問い合わせがいく場合の対応を決めておく必要  
 ⇒ 「東京同窓会」としての挙行。個人名は出さない。リリースは団体名で。
    - ・ HPへの載せ方 ⇒ 佐原さんと密に連絡をとる
    - ・ 総会の扱い ⇒ アルカディア市ヶ谷で通常通りとする。
    - ・ オンラインZOOMのみとした場合の拠点・メインになる会場は必要
    - ・ オンライン実行する場合、「会」として最低限の企画が必要。昨年のように寄付一本とは異なり、実行委員の「企画」に関する負荷が高くなる。  
 ∴ 負担軽減できるところはしたい。例えばオフラインの中止判断をぎりぎりではなく3月上旬には下してオールオンラインに傾注してもらおう、等。
  - ・ 皆さんからのご意見やアドバイスを頂きたい。
- (三澤) 縣陵本部のオンライン新年会の様子について三澤幹事長から報告
- ・ 松本CATVの専務が縣陵高29回の卒業生が八十二銀行から出向していて、彼のアイデアで、校長先生と同窓会長、高23回の松本信金の理事長、高29回の「ま・どんなの会」の会長がスタジオの和室を借りて座り、20名程がリモートで参加。最初は、ここに10名位座る予定だったが「蜜」を避けるために司会を入れて5人になった。後は常盤事務局長や副会長が前に出てきて挨拶等を行った。直接、生中継を行い、1月10日に再放送、その後、70分くらいのCDにして皆さんに1000円で購入して頂いた。ユーチューブでも当日の視聴者が約100名、HPで検索すると500人以上が視聴している。多くの縣陵生に自宅から参加してもらった。
  - ・ 濱田実行委員長からオンラインの提案があったが、この形を取れば実施可能と考える。去年は中止となったが、今年に関しては、ハイブリッドで行くかZoomオンライ

ンで行くか、オンラインという選択を持って、ハイブリッド方式をどうするかはコロナの状況を見て判断していきたい。会場への解約通知期限は4月8日ですが、皆さんのご意見も聞きながら方向性は決めて行きたい。Zoomでやる場合は、東京周辺で2700名に案内を出しているが、参加者は300名程。これを機会に今まで一度も参加できなかった同窓生、北海道・中京圏の同窓生にも発信していける良い機会にしたいと考えている。

⇒ 参加者の意見

(草野実行委員)

- ・ まだ実行委員4名で話し合っている状況。コロナ禍の中、集まるリスクを考える方が多いので、このような提案にした。皆さんのご意見をお聞きしたい。

(佐原)

- ・ オフライン120名でやる場合、ごく普通に考えて、今までは同期同士で集まることが多く卒業会が離れている人たちとの交流は多くない。同期あつての同窓会のイメージが強いので抽選方式は馴染まない。120名も密。同期で集まってそれをオンラインで結んだ方が良い。また、「やらない」という選択肢もある。無理やり形を整える為にやる必要はないのでは。HPに同窓会スペシャルのようなページを作ってそこにコンテンツを集めるという方法もある。集まる意味が果たしてあるのか。

(荒木)

- ・ 松本の新年会の例を見ると、制作会社が絡んでいるようだ。専門家に外注するのか。また、その予算はどの位か。  
➡ (三澤) 松本はCATVのプロが撮影して編集していた。そのノウハウは東京同窓会にはない。何らかの形で外注するか協力してもらう必要がある。

(宮下)

- ・ 120名集めて会場はOKでも受付は密になる。実行委員会の負荷も掛ることを考えるとオフラインの開催は考えにくい。今からリモート中心で考えた方が良くと思う。

(青柳)

- ・ 去年、アルペン会を4月に予定し案内を出していたが、緊急事態宣言が出たので2週間前に中止した。HP等にも案内を出したが、1名が当日ゴルフ場に行ってしまった。そうならないようにする必要がある。リミットを決めて、あとはオンライン参加としたらどうか。

(仁科)

- ・ 難しい問題。抽選方式について、自分は当たったが同期は外れたということが有りえる。分科会方式で、各期に別の場所に集まって、それをオンラインで繋げることを考えたら面白い。その場合は、センターをどこかに作る必要がある。

(中田)

- ・ オフライン方式は、実行委員会の運営を考えると難しい。全員が集まると密な状況

が生まれやすい。今からオンラインを考えた方が現実的だと思う。

(石井)

- ・ 難しい問題。レディースの行事も計画しているが、今年実行できるかどうかは分からない。気持ちはオフラインで出来ると嬉しいが、不安も有るので、今年も潔く見送るということもあり得ると思う。

(奥原)

- ・ 私の同期は毎年2回ほど集まっていたが、去年の新年会以降は同期会が出来ていない。6月以降もワクチンが打ち終わってれば参加できるかもしれないが、それも分からない。Zoomが何人でも参加出来て、同期毎のZoomで集まり、それをZoomで繋げるということは可能なのか。

➡ (百瀬) 今は最安のプランなので参加人数が限られるが、年会費が高いプランに切り換えれば、大人数も参加できる。

➡ (三澤) 松本の新年会の時も、同期毎に何か所かで集まってそれを中継で繋げるという話が有ったようだが、その場所も3密になると言うので止めになった。同期毎に仲間で集まってそこを中継で繋ぐことは可能と思う。

(百瀬) 会社ではTeamsというソフトを使っているが、一度に二つの会議には参加できなかった。それぞれの会場で集まった模様全体を中継することは出来ると思う。

(草野実行委員)

- ・ オンラインは一つのルームに入るという仕様だが、Zoomメインから小さいルームに入る機能はある。小さい所は画面を分けて、大きな所はユーチューブで流すという方法はあると思う。画面をシンプルにした方が良いと思う。

(丸山)

- ・ 準備する側として、経験した立場から言うと、4月まで持ち越すと準備する方は大変なので、早い時期に、今にでも決めた方が良い。オンライン方式にするにしても早く決めて準備した方が良い。また、オンライン方式の場合、運営する場合に、一体いくら集まるのか、業者への外注費など幾らかかるのか、予算組をどうするのがわからない事も問題だと思う。

➡ 予算については、去年は中止となり別枠で母校への寄付とした。他の行事も中止になり予算案も修正した。来年度6月の東京同窓会の予算組も必要。オンライン方式で行うのであれば、次の3月の合同幹事会で予算案を作り承認することになる。会費の徴収が出来ない場合は、同窓会から対応の費用を支出する予算を作る。

(二木)

- ・ 同窓会は同期が居ないと集まらない。抽選する位ならオフラインはやらない方が良い。オンラインについては、どれくらいのお金が掛かるのか、今の時点では分からない。今までは飲食代と会場費の名目で会費を取っていたが、オンラインの場合は

どんな名目にするのか難しい。エンタメでは物販（タオル・団扇など）という話になるが、果たしてそれが同窓会にフィットするのか、また下手に作って在庫が出来ても拙い。アイデアは出るがお金の所が難しいと感じる。

- ・ オンラインの場合もリアルタイムでやる必要がどのくらいあるのか。本部の新年会でもリアルタイムは100人視聴だったが、その後では500人位になっていると、後で楽しめば良いという話も出てくる。リアルタイムでやる意味を明確にしないと、後でユーチューブ動画を見るよということになる。番組作ってそれを後でみんなで楽しめば良いということになる。オンラインでのリアルタイム開催についても丁寧に整備していかないと折角頑張っても報われないこともあり整理した方が良い。

(中村実行委員) 高43回

- ・ 始めまして。なかなか同期の実行委員会のメンバーも集まらず、新しいメンバーも探せない状況で止まっています。今日は皆様のお話を聞かせて頂き参考にしたい。

(久保田)

- ・ こんな時期に担当される皆さんご苦労様です。心から大変だなと思います。ただ、6月と言う時期を考えると、まだまだコロナは収まっている時期ではないので、大勢が集まってやる必要はあるのかなと思います。出来ることならば、会場で集まるよりは、小じんまりとオンライン的なもので開催出来れば安全だと思う。今の段階では、集まる・Web・両方が候補で上がっているが、早いうちに1本化して、その方法について皆で話し合っより良い同窓会が出来るように持っていけると良い。個人的には、集まることについては高齢者が多いので危険なので、Zoomとかで出来る方法を皆で話し合っ、難しいなら止めるということでしょうか。会場の使用については4月の初めに期限が来るので、今のうちに会場でやるかどうかを先ず決めてオンラインでやるんだったらどうでしょうかと言う方法で行ったら如何でしょうか。

(戸田)

- ・ 私はどちらかと言うと実行委員側の立場であり、本案についても実行委員と一緒に考えてきたものなので複雑な気分です。  
気持ち的にはやりたいが現在の状況を考えるとやはり無理かなと思う。
- ・ ただ、オンラインでやるにしてもどうやったら良いのか見当が付きません。

(宮下)

- ・ 高43回の皆さんも同期の集まりがこれからという時でご苦労されていると思う。オンライン中心でやるとしても今までその準備が出来ていない。6月に120人集まる前提で考えなくとも、先輩の力を借りながら、オンラインでやるとしたら、世の中の皆さんがどういうやり方をしているのか、どういう方法が有るのか、費用はどの位掛かるのかをベンチマークして次回の合同幹事会で発表をして最終的に決めてもらったら良いと思う。オフライン・従来通りのやり方では安全性の担保に戦々



恐々としている人が多いので人は集まらないと思う。出来れば、今日、皆さんの総意を得てオンラインの方向性で進めるのであればベンチマークが必要だと思う。

(青柳)

- ・ 同窓会の総会のみはオンラインで行うと決めるとこの日にちは担保できる。代表幹事も少ない中で集まる人はいるし、殆どが一方通行。懇親会・同窓会等のパーティーはチャットとかいろんな意見が出ないといけないので決められない、無理です。思い切って、総会は何月何日にオンラインでやると決定したらどうでしょうか。懇親会については、高43回の皆さんが中心になって、指導委員もいるので、どういうことをやっていくのか、この場で決めると前進すると思う。

(佐藤)

- ・ 今の状態で、6月に65歳ワクチン全部の話もあるが、これから4月のアルカディアのキャンセルの日までに、オンラインでやると決めたととしても、果たして全部決めることが出来るのかが見えない。濱田さんの方であと2か月の間に、アルカディアに集めることを止めて全部オンラインでやるということが出来るのかどうか。実行委員も4人しかいない、会報も作らないといけない。そこが問題。総会だけでもやって、懇親会は別にした方が良くと思う。

(森本)

- ・ 実行委員長の濱田さん達は、去年出来ていないみんなの集まりを出来るものならば是非やりたいという思いがある。だから、会場にもヒアリングし、物理的にどうなんだろうと聞き、何か手掛かりが無いかどうかという思いが有るから、オフライン市ヶ谷というのが一番最初にある。これは皆さんにも良く分かって頂けると思います。市ヶ谷で出来ると有る意味楽です、一番良い形で有り、企画も付いてきます。それができると一番良いとは思いますが、正直、実際問題わたしも、全員が市ヶ谷に集まると言うのはできないから、オンラインでもやらないといけない。Zoomなどで出来るもう一つの道を探っていかなければならない。非常に辛い期ですが、両方やって行ければ良いという思いが引っ張っています。難しいと思います。濱田さん達実行委員の気持ちの切り替えも含めて、一つあるのは、Zoomでやるにしても必ずどこかに拠点が必要だということです。必ず同時性が必要になります。総会だけで有る程度集められるというのがあるから、会する部分は何人になるかは別として市ヶ谷に残る。取材も有る程度出来ている。100人集まるのかという問題もありますが、ゼロにはならない。問題はZoom。オンラインのやり方に誰も詳しい知見がない。良くZoomで行うセミナーが有り、有料で申込と連動して行うやり方がありますが、ノウハウ・繋ぎ方も分からない。これから研究していかないといけない。予算もこれからです。これからオンラインを研究していかないといけない。その時の企画はどうするのか。頭を悩まさないといけない。課題が一杯あります。実行委員の気持ちの切り替えをしながらオンラインを追求していく、基本はそうしたいと考えていま

す。幾つかのポイントがあり、見取り図を作りながら、解を解いていかないといけない。これから宜しく願い致します。

(小林)

- ・ 現状、コロナに如何にして掛からないようにしていくかが一番問題だと考える。ワクチン接種がどれだけ実行されるか、それがハッキリしないとオフラインは無理だと思う。実際、東京に勤務しているが、誰か感染すると事業所が仕事にならないという危機感を持っている。何らかの形で集まると言うのが前提の場合に、それだけの安全が担保できるのかが一番引っ掛かる。高42回の方々にもいろいろやって頂いたが、どういう点がコロナ禍の中で感染を避けて出来たかという話を聞くのもヒントになる。私としては、コロナの影響が遮断できる環境が担保できないと無理だと感じている。

(脇川)

- ・ 私はこの一年間は電車に乗っていない。自宅に引き籠っている。今の時点で考えられることは、オンラインを前提で決めざるを得ない。オンラインも100%できるかという点と難しい。オンラインと決めた時に何が出来るかということも早急に検討してもらって、100点満点は無理でも、50点というところも考えざるを得ない。考えた結果、最悪、今回は見送ろうよとなっても仕方ない。それも一つの選択肢。この場では、オンラインでやると決めたらどうか。オフラインは無理だと決めて近々何をやるかを決めた方が良い。課題を広げると時間の制約もある。

(巢山)

- ・ 非常に大変で厳しい状態で皆さんご苦労されている。オフラインは厳しいのでオンラインでということになると思うが、オンラインの場合も、総会ではできるが、従来やっている懇親会はどういう内容でやるかというのが最大の問題となる。実行委員会のメンバーが色々と考えていると思うが非常に工数が掛かると思う。結果的にやるとすれば、総会だけオンラインでやる、それ以外は会報あがた12ページに掲載の通り従来とは内容を変えて会報にメッセージを残すという2段構えで高43回のレガシーを残すことができるのではないかと思う。オフラインは難しい状況。

(佐藤会長)

- ・ 難しい、東京同窓会としては、私としては出来ればやりたいという気持ちが根底にあるが、これは環境が決めることで、優先するものではない。ただ、ここでやるかやらないかという前提条件を決めないといけない。どういう条件になった時にやらないと、もうスッと割り切る。どういう条件だったら出来ると、これを決めておかないと議論が前に進まない。緊急事態宣言が出たらやらないとか、死者が何人になったらやらないとか、基準を決めないといけない。ワクチンの問題があるが、延びてきているのでそんなに期待は出来ないで判断材料に入れるのには無理がある。出来なかったときに何を考えないといけないか、懇親会は止めた、総会をどう



いう形でやるか、オンラインでやれるのかどうか、絞ってやるのか、ある程度方向づけをしないと話が前に進まない。

- 懇親会をやるにしても簡素にして、手間暇かけないと、集まってくれたら結講、どなたか歌でも歌ってください程度であげて、肉体的にも精神的にも負担が掛からない形で進めるという大雑把な枠組みを作っていく事が必要と考える。

(三澤)

- 皆様のご意見をありがとうございました。濱田さんからはオフラインでやる場合、オンラインでやる場合のシミュレーションの提案を頂いている。実行委員会が進める為にも方向性を決めたい。
- 実行委員長から提案の有った方向性として、オンラインの方向で基本的に進めるということで意見集約をしたい。オンラインで何が出来るか、費用はどれくらいかについては、3月の合同幹事会で大きなフレームを提案して頂くといこうことで進めたい。また、実行委員会のメンバーも多くないので、高42回の中田実行委員長や同窓会の幹部も含めて協力していきたいと思う。

※

(濱田)

- ご意見を頂戴しありがとうございます。
- 今すぐの開催は難しいが、6月ということもあり、オフラインは絶対ダメだとされると我々もやり難い。オンラインで何をやるかについては、皆さんからも具体的なアイデアはなく、時間的に間に合うかということ、逆にオンラインだけの方が難しいと考えている。総会はオンラインでできると考えるので、ここを軸に上手く使って、オンラインの方でやるとしたい。オンラインを中心にして、オフラインの可能性も考えるとして頂けると実行委員会はプランが立てやすい。

(三澤)

- 私のオンラインというのも拠点は必要となってくる。ただ、そこも120名とか抽選で集めるとかは考えていない。ハイブリットだが規模は縮小、オフラインも小さい会場は伴う、そこは何人が良いかは検討もしないといけない。オンラインオンリーではない。

(濱田)

- 私も、オンラインZoomとオフライン規模縮小とのハイブリッドで進めさせて頂けると問題ない。

(百瀬)

- オンラインにしても拠点が必要なのは確か。アルカディアをその拠点にすることができる。その場合も120名とかではなく、数十名でもよく、総会の参加者だけとメンバーを固定することもできる。出席できない人はオンラインで参加でも良い。懇親会はオンラインでということもできる。アルカディアのメンバーを固定してしま

えば抽選はいらない。規模は3月の感染状況を見て決めれば良いと考える。

※ 「オンラインZoomとオフライン規模縮小とのハイブリッドを進めることを基本方針とする」ことを全会一致で決定した。

(2) 会報第43号発行計画について 戸田広報委員長(高28回)

資料『東京同窓会・会報「あがた」第43号発行計画』に基づき説明

- ① 原点に戻り、A4版 12ページ、1色刷り、コンテンツおよび広告をどれだけ頂けるかによるが48万円を予定。
- ② 1月16日に、濱田実行委員長・森本総会指導委員長・荒木参与らと打合せを行った。4月の第3週に行う母校愛のリレー(4/24 規模を縮小して実施予定)がゴール。会員には、ゴールデンウィーク前に配布完了を目指している。
- ③ ここ二年母校の話題を中心としてきたが、今回は母校への取材もできないこともあり、東京同窓会を中心とした内容にしたい。従って台割りについては、第一面に佐藤会長からの寄稿を掲載、オーソドックスな形にしている。  
またコンテンツは高43回の皆さんからの寄稿、第52回中田実行委員長からiPad寄付についての寄稿を予定。東京同窓会の各委員会の活動報告などを予定している。
- ④ 制作スケジュール詳細については資料参照。

(青柳)

- ・ 昨年の中田実行委員長がiPadを贈ったというのはいろんな所から聞いたが感激は全くなかった。しかし、新年会で校長先生から「東京同窓会からiPadを頂いて大変有難うございました」という話を聞いて一番感激した。受取側の記事の方がリアリティ・感激が多いので、そのような逆側の立場の記事を掲載すると良い。
- ・ また、電算印刷と言う会社が良く分からない。一番安くできる会社はどこかというのをやった方が良い。

(荒木)

- ・ iPad贈呈に関わる校長先生からの寄稿を2ページで掲載予定している。

(三澤)

- ・ 11ページの令和2年度の決算報告と事業報告について予定されているが、令和3年度の事業計画案と予算も並行して掲載したいと考えている。

(荒木)

- ・ 去年の会報も新年度の予算案を掲載することとして10ページと11ページを逆にした。
- ・ 全て入っていると理解しています。予算案は総会の会場で配っていたがそれが出来ないで、今年も会報で掲載する。

(戸田)

- ・ 昨年のような別刷投げ込みチラシのようなものは避けたい。10-11ページはどうにでも編集できるようにしている。

(荒木)

- ・ 広告収入を48万円計画しているが、コロナ禍のなか提供できない会社・人も出てくるので、寄稿を広げて頂く事もあるのでご協力をお願いします。48万円は何とか確保したいと考えている。

※ 審議の上、発行計画、台割案については全員一致で承認された。

(3) 令和3年度各委員会事業計画骨子発表 百瀬総務委員長 (高27回)

**【総務委員会・100周年記念事業委員会】**

合同幹事会を年4回開催 5月・9月・1月・3月

代表幹事会の開催 年2回 8月 および12月

松本本部同窓会 6月、関西同窓会 7月、僚友校(深志、松商)総会に参加  
年度活動計画、幹事会議事録を作成し、ネットで公開(幹事専用)

渉外、広報のバックアップ(松本本部交流、同窓連・僚友校等外部交流、ホームページ)

6年委員会・縣陵東京同窓会活動のサポート、同好会等へのバックアップ

総会・懇親会参加者に同窓会活動のアピール、100周年記念行事に向けた準備(本部同窓会との連携)、長野県外在住者の母校へのふるさと納税寄付金活動と呼びかける。

Zoomを活用した東京同窓会内の委員交流

**【財政委員会】**

会報「あがた」ホームページで年会費及び終身会費納入と寄付のお願い。会費納付者の一覧把握

第54回総会実行委員会と広告料、総会費等の入金情報を緊密に行う。

終身会費及び年会費の管理、財政委員・幹事長・会計委員との密な連絡

会費徴収目標

終身会費	20名 (@20,000円)	400,000円
年会費	200名 (@2,000円)	400,000円

**【渉外委員会】**

中信同窓連、東京同窓連の各行事(役員会、総会、忘年会、新年会、旅行会、ゴルフコンペ、みすずかる句会)に積極的に参加し、会員相互の連携と親睦交流を図る。

(中信同窓連) 総会、親睦ゴルフ、懇親旅行、忘年会

(東京同窓連) 総会、新年会、親睦ゴルフ会

## 【縣陵レディース】

コロナ感染の状況を見ながら、以下の計画を行う。

- 4月 役員会議：今年度の行事計画の打合せ
- 5月 役員会議：行事内容の決定
- 6月 行事下見、同窓会総会にて行事の周知及び参加呼掛け
- 8月 役員会議：行事の具体的内容について決定
- 9月 女性会員に行事の案内状を送付
- 11月 今年度行事を実行

## 【広報委員会】

### 1. 広報部門

- ・ 会報「あがた」43号 を発行  
2021年はA4・12ページ（モノクロ1色印刷） 約3,000部を予定  
4月13日（火）データ入稿  
松本「愛のリレー」への発送（4月下旬開催予定）  
同窓会員への発送（GWまでに会員宅到着）  
第54回東京同窓会・総会  
43回期実行委員会・総会指導委員会との緊密な連携  
総会案内状・申込はがきの制作  
総会・懇親会の配布資料等の作成に協力  
母校卒業生（74回）向け同窓会案内作成と配布依頼（12月）

### 2. ホームページ部門

- ・ www.kenryo-tokyo.net の管理運営  
「WITH コロナ」状況下におけるHPの在り方模索、新たなコンテンツの生成。  
（戸田）なかなか集まる機会が作れないので、HPの縣陵東京ネットを活用して頂きたい。内容も充実させていきたい。  
（佐原）個人情報の関連もあるが、個人の情報やリタイア後のページとか内容を充実させていきたい。今回、同窓会をどうするかについてHPに上げる情報を早めに検討していきたいので実行委員会等の連絡を密にしていきたい。

## 【総会指導委員会】

- ・ 第54回東京同窓会開催  
日時：2021年6月12日（土）  
会場：アルカディア市谷（私学会館）3階 富士の間、  
オンライン中心のハイブリッド方式を検討する  
実行委員長：43回卒業生 濱田和弘  
（森本）総会・懇親会は連続性が大事だが、高44回のメンバーがいらないの

で発掘が必要。今年の方針については、総会指導委員のメンバー全員には伝えてある。Zoomの活用の為には若い人のアイデアが必要。歴代の実行委員長にも伝えるのでアイデアを出して欲しいと考えている。HPでも縣陵生のwho's whoを取り上げていきたい。

・実行委員会引継ぎ会の開催 日時：2021年7月予定

#### 【6年委員会】

コロナ影響も踏まえ、オンラインとオフラインの環境をミックスした新たな交流の場を設計し、6年委員メンバーならびに6年間の同窓生の交流を促進する。(試行的な取組みを実施。まずは質より量を優先)

6年委員会メンバーの活性化と当初の6年委員会の原点に立ち返り、6年間の同窓生の発掘に注力する。(6年委員メンバーや関係者と意識合せを行う)

100周年にむけた松本との連携の強化と交流促進(母校訪問、松本のイベント参加)。(欠席となった松澤委員長よりのメッセージ)

2020年度はコロナ影響もあり、公私とも対応に追われ、6年員会の活動が全くできず、申し訳ありませんでした。

2021年度もコロナ影響は引き続きあるものの、そういった環境下で、オンラインとオフラインをミックスした新たな交流の場を考えたいと思います。まずはいろいろな企画を試すつもりです。よろしくお願いいたします。

#### 【会計委員会】

会計ソフトを使用し金銭出納処理を行う。

実行委員会口座の運用状況を確認しアドバイスを行う。

総務・財政委員長と協力し次年度予算案を立案し幹事会に提案する。

実行委員会会計と協力し総会・懇親会決算書をまとめ監事に提示し監査を受ける。(小林) 実行委員会の決算については、毎回、違う実行委員会の方に、会計の纏めをして頂くので、どこを抑えなければいけないというガイドラインを作り説明していきたいと考えている。

#### 【事務局】

名簿管理については従来通り、知り得た情報を反映するとともに、若手の名簿を充実させる。

母校100周年に向けて、関連委員会のバックアップ。

同窓会の将来の為に、卒業生の所在と連絡方法を把握する。

名簿上位記載会員の状況把握

事務局人材確保

(佐藤次長)

名簿については本部同窓会との連携を密にして頂いて、名簿の開示などをお願いして欲しい。

※ 審議の上、全会一致で承認された。

(百瀬)

各委員長は今回承認された骨子に基づいて令和3年度の事業計画案と予算の作成をお願いします。また、併せて令和2年度の事業計画ならびに決算の取り纏めをお願いします。その内容については、次回3月の合同幹事会で発表して頂き承認を得たい。具体的なスケジュールは改めて連絡する。

(4) その他無連絡事項

① 同窓連 仁科渉外委員長 (高24回)

- ・ 同窓連関係の活動は現在休止している。

(巢山) 2期4年の任期満了に伴い東京同窓連会長を退任し、顧問となりました。この4年間、皆様のご支援ご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

② アルペン会報告 青柳相談役 (高20回)

- ・ 次回84回大会は、令和3年4月15日(木)上野原カントリークラブで開催予定
- ・ 前回、83回の大会では、奥原参与がエイジシューター (age shooter) を達成しました。おめでとうございます。(年齢と同じ=80又はそれ以下のスコアを記録した)

(佐藤会長)

- ・ お疲れ様でした。今回の第52回の総会の準備と言うのはコロナの問題から難しいことが重なってくる。
- ・ 我々がやる頃にはオリンピックが重なってくる。考え方の中には時期を後ろにズラス(10月か11月)ということも選択肢に入れて良いと思う。
- ・ 準備を頂く濱田さん達は会合をするのが難しく費用も掛かると思うので、総務委員会で個人負担が起きないような方策を検討してもらいたい。
- ・ 大変な時期に大変な決断を出していくので、慎重かつ大胆に、思い切った別の方法を考えながら総会に持っていければ良いと思う。
- ・ 皆さん今日は有難うございました。

審議を15:00に終了。

※ 次回の合同幹事会 2020年3月に実施予定、改めてご連絡します。

以 上